

令和6年度 林業普及週間現地情報 (8/26～8/30)

森林管理課

リュウキュウマツ赤枯れ個体のサンプル採取

8月27日(火)

令和6年8月27日、石垣市内において、石垣市職員と八重山農林水産振興センター職員でリュウキュウマツ赤枯れ個体のサンプル採取を実施した。

マツノザイセンチュウを媒介する伝染性の樹木病害であるリュウキュウマツ材線虫病は、伝染すると赤変し枯死することから、赤枯れ個体の調査及びサンプル採取による検査が早期発見・初期防除に繋がる。

今回は7月30日に調査し、発見された赤枯れ個体4個体について、土地所有者である石垣市と共同でサンプル採取を実施した。今回の赤枯れ個体の多くは林内に位置し、地上から発見することは非常に困難であったが、ドローン等を活用し場所のおおよその特定を行うことでスムーズに発見できた。

採取したサンプルは森林資源研究センターへ送付し、マツノザイセンチュウの検査を依頼した。

今年度は、継続して巡視及びサンプル採取を実施していくほか、松林所有者向けの「松枯れ被害水際対策講習会」を実施するなど、八重山における松枯れ被害水際対策を強化していく。



サンプル採取の様子



林内奥に位置する赤枯れした松

(報告者：八重山農林水産振興センター 小菅、金城)